

ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・フクシマ

日本政府と核保有国に、広島・長崎の被爆者の声を届けよう

核軍縮の審議はじまる

核兵器禁止条約の即時交渉開始を

秋の国連総会の核軍縮問題の審議（第一委員会）が10月3日からはじまりました。最大の焦点は核兵器禁止条約の交渉開始にすみやかに踏み出すことです。

去年の5月、世界189カ国が参加した核不拡散条約（NPT）再検討会議は、「核兵器のない世界の平和と安全を達成する」ことを決めました。12月の国連総会では、核兵器禁止条約にいたる交渉の開始を求める決議に、国連加盟国の3分の2を超える133カ国が賛成し、この中には核兵器を保有する中国、インド、パキスタン、さらには北朝鮮も含まれています。

核兵器全面禁止に向かって具体的な協議へと足を踏み出すことは、ほんの一部の核保有国が決断すればすぐにも可能です。

被爆国日本がイニシアチブの発揮を

核兵器廃絶への新たなページが開かれようとしているにもかかわらず、日本政府は核兵器禁止条約の交渉には消極的態度をとり続けています。米国の核積載艦船の日本寄港を認めた過去の密約についても破棄することを拒否し続けています。その背景には、日本の安全をアメリカとの軍事同盟、とりわけアメリカの「核の傘」に求める対米追随の姿勢があります。

日本政府に対し、「核の傘」からの離脱を宣言し、国連総会で核兵器禁止条約の交渉開始の提案をおこなうなど、被爆国としてふさわしい役割の発揮を求めましょう。

国連総会にあなたの署名を届けます

私たち日本原水協は、今年2月15日、潘基文（パン・ギムン）国連事務総長も含む内外の広範な方々の賛同を得て、核兵器全面禁止のアピールを出し、これを支持する新たな署名運動を開始しました。この署名は、すべての国の政府に、すみやかに核兵器禁止条約の交渉を開始するように求めています。

10月2日から10日まで、「日本原水協国連要請代表団」を派遣します。国連総会が核兵器禁止条約の即時交渉開始とすみやかな締結への合意を生み出す場となるよう、日本と各国の政府に働きかけ、国連総会第一委員会議長に署名を提出します。あなたも是非、「核兵器全面禁止のアピール」署名にご協力ください。

原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4
TEL.03-5842-6031 FAX.03-5842-6033
<http://www.antiatom.org/>

